

**冬ごもり明けのクマに注意！**

## 春のクマ注意報！

### ○ クマが冬眠から目覚める時期です。

目覚めたクマが食べ物を探して動きます。（雪解けの早い里、沢筋など標高の低いところにクマが集まりやすい。）弁当の食べ残しなどは必ず持ち帰ってください。

### ○ 親子連れの子グマに注意！

春は、雌グマが冬の間に出産した子グマを1～2頭連れている場合があります。母グマは、子グマを守るために神経質になり、人に向かってくる可能性があります。

### ○ 山菜採りは周囲の確認をしながら。

春はクマも草や木の芽を好んで食べることから、山菜採りで遭遇する可能性が高くなります。山菜取りに熱中するあまり周辺への注意力が散漫になったり、またラジオや鈴の音がクマに届かない場合があることから、なるべく複数で行動し、周囲に十分気をつけましょう。

**【クマと出会わないことが一番です。】下記にご注意ください。**

#### ◇ 朝夕の行動は避ける

明け方と夕方はクマの活動が活発です。この時間帯は特に注意してください。山中では、昼間でもクマが活動していると考えてください。

#### ◇ 周囲の確認をする

山菜はクマの好物です。山菜のある場所には、クマがいる可能性があります。溪流釣りなどの場合は水の音で、クマも人もお互いの気配を感じず接近してしまうことがあります。常に周囲を確認しましょう。

#### ◇ クマのいる場所に近づかない

山中はクマの生息地です。クマの足跡や糞などを見つけたら、それ以上近づかずには引き返しましょう。また近年では人里周辺で冬眠しているクマもいます。奥山だけでなく、里山でも注意してください。

#### ◇ 笛、ラジオ、鈴の携帯を

人の気配を感じたら、クマは自分から人を避ける行動をとります。まずは人がいることをクマに知らせましょう。（笛、ラジオ、鈴など音の出る物を携帯して、音を出しながら行動を！）出来るだけ単独での行動はやめ、複数で声を掛け合いながら行動しましょう。

#### ◇ 子グマを見たら立ち去る

子グマの近くには必ず母グマがいます。母グマは子グマを守るために、人へ攻撃することがあります。子グマを見かけたら、刺激しないよう静かにその場を離れましょう。

#### ◇ 犬は連れて行かない

人の気配を感じたクマは、身を隠して人をやり過ごそうとします。しかし、犬と一緒にいる場合には、犬に吠えられるなどして、人へ攻撃をする場合があります。犬を連れて山中へ入るのはやめましょう。

**クマとのバッタリ遭遇が一番危険です。  
まずはクマに人の存在を知らせましょう。**